

Q: 私も前縦隔原発の絨毛癌を経験したことがありますが、今回の症例も胚細胞性腫瘍も考えましたが書けませんでした。質問ですが、縦隔の病変はなかったでしょうか？

胚細胞性腫瘍の場合は血清腫瘍マーカーの測定が重要になりますが、血清 AFP、HCG、CEA 等は測定されてますでしょうか？

A: ご質問いただき、ありがとうございます。

1. 縦隔の病変がなかったかについて：解説の肉眼像の様に、右肺門はリンパ節と腫瘍が一塊となった腫瘤を形成している状態でした。私たちも剖検診断当時、縦隔原発とするべきか、肺原発とするべきか少し迷いました。ただ、右肺門の腫瘤は位置的には中縦隔にあたり、胚細胞腫瘍の発生部位とは異なり、症例報告レベルでも中縦隔の発生症例がないこと、肺原発の症例は報告があることから、肺原発と考えました。

2. 血性マーカーについて：剖検後に残血性で測ったものですが、hCG 450ng/ml(正常値 0-0.1)と上昇を認め、AFP 4.1ng/ml(正常値 0-10)でした。CEA は生前に測られており、6.0ng/ml(正常値 0-4.6)でした。